

1 収入の減少が新型コロナウイルス感染症の影響である場合”✓”を記入してください。
収入の減少が新型コロナウイルス感染症の影響ではない場合”✓”は記入せず、本給付金の対象とはなりません。

○「住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金申請書」と一緒にご提出ください。

① 下記にチェック (☑) してください。

私の世帯は、新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少しました。

2 申告書の『2.申請者が属する世帯の状況』に記載した全ての方の状況を記載して下さい。

② 申請書の「2.申請者が属する世帯の状況」に記入した者全てについて記入してください。

記載例① (収入で申請)

氏名	左欄の者が扶養する者の数	令和4年度住民税課税状況	障害者控除等の適用	収入の減少のあった年月	任意の1か月の収入⑤			年間収入見込額 D×12	非課税相当収入限度額
					給与収入 [A]	事業収入又は不動産収入 [B]	年金収入 [C]		
1 ホクト タロウ 北杜 太郎	2 人	<input checked="" type="checkbox"/> 課税 <input type="checkbox"/> 非課税 <input type="checkbox"/> 未申告	<input type="checkbox"/> 障害者控除 <input type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除 <input type="checkbox"/> ひとり親控除	令和4年1月	収入合計額 A+B+C= [D] 120,000 円	0 円	120,000 円	1,440,000 円	1,680,000 円
2 ホクト ハナコ 北杜 花子	0 人	<input type="checkbox"/> 課税 <input checked="" type="checkbox"/> 非課税 <input type="checkbox"/> 未申告	<input type="checkbox"/> 障害者控除 <input type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除 <input type="checkbox"/> ひとり親控除	令和4年1月	収入合計額 A+B+C= [D] 0 円	0 円	0 円	0 円	0 円
3 ホクト ユキコ 北杜 雪子	0 人	<input type="checkbox"/> 課税 <input checked="" type="checkbox"/> 非課税 <input type="checkbox"/> 未申告	<input type="checkbox"/> 障害者控除 <input type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除 <input type="checkbox"/> ひとり親控除	令和4年1月	収入合計額 A+B+C= [D] 0 円	0 円	0 円	0 円	0 円

【1】令和4年1月以降の任意の1か月の収入により申請する場合

3 ④欄. (令和4年1月以降)収入の減少のあった月
⑤欄. ④に記入した月の1か月の収入
⑥欄. ⑤に記入した収入の合計額【D】×12(か月分)

4 下表から、①欄(扶養する人数)の区分の非課税相当収入限度額を確認し、⑦欄に記入して下さい。

〈早見表〉

扶養している親族の状況	非課税相当収入限度額
単身又は扶養親族がない場合	93.0万円
配偶者・扶養親族(計1名)を扶養している場合	137.0万円
配偶者・扶養親族(計2名)を扶養している場合	168.0万円
配偶者・扶養親族(計3名)を扶養している場合	209.7万円
配偶者・扶養親族(計4名)を扶養している場合	249.7万円
障害者、未成年者、寡婦、ひとり親の場合	204.3万円

妻、子(計:2人)
扶養している

5 ⑦欄(非課税相当収入限度額)と⑥欄(年間収入見込額)を比較して、⑥欄のほうが低ければ支給対象です。
※令和4年1月以降の任意の1か月の収入により申請する場合、所得による申請(裏面)の記載は不要です。

6

1 ~ 5 までは収入により申告する場合と同じように記載する。

② 申請書の「2. 申請者が属する世帯の状況」に記入した者全てについて記入してください。

記載例② (所得で申請)

	(フリガナ) 氏名	左欄の者が扶養する者の数 ①	令和4年度 住民税 課税状況 ②	障害者控除 等の適用 ③	収入の減少 のあった年 月 ④	任意の1か月の収入⑤			年間収入 見込額 D×12 ⑥	非課税相当 収入 限度額 ⑦	
						給与収入 【A】	事業収入 又は 不動産収入 【B】	年金収入 【C】			
1	ホクト ジロウ	0 人	<input checked="" type="checkbox"/> 課税 <input type="checkbox"/> 非課税 <input type="checkbox"/> 未申告	<input type="checkbox"/> 障害者控除 <input type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除 <input type="checkbox"/> ひとり親控除	令和4年2月	収入合計額 A+B+C=【D】			80,000 円	960,000 円	930,000 円
	北杜 次郎					0 円	80,000 円	0 円			

7

⑦欄(非課税相当収入限度額)と⑥欄(年間収入見込額)を比較して、⑥欄のほうが高い場合『任意の1か月の収入』による申請は非該当となります。ですが、『年間所得見込額』による申請で控除額を算出することで該当となる場合があります。

【2】令和4年1月以降の年間所得見込額により申請する場合

8

⑥欄. 収入による申告(表面)の⑥欄(年間収入見込額)を転記
⑧~⑩欄. 各欄に該当する控除額を記入

③ 年間所得により申し立てる場合、申請書の「2. 申請者が属する世帯の状況」に記入した全ての者について記入してください。

	(フリガナ) 氏名	【収入】	【控除】			【所得見込】	【非課税相当額】
		年間収入 見込額 ⑥	給与所得 控除額 ⑧	事業収入 等の経費 ⑨	公的年金等 控除 ⑩	年間所得 見込額 ⑪	非課税所得 限度額 ⑫
1	ホクト ジロウ	960,000 円		600,000 円		360,000 円	380,000 円
	北杜 次郎						

9

下表から、①欄(扶養する人数)の区分の非課税相当所得限度額を確認し、⑫欄に記入して下さい。

〈早見表〉

扶養している
人がいない

扶養している親族の状況	非課税相当所得限度額
単身又は扶養親族がない場合	38.0万円
配偶者・扶養親族(計1名)を扶養している場合	82.8万円
配偶者・扶養親族(計2名)を扶養している場合	110.8万円
配偶者・扶養親族(計3名)を扶養している場合	138.8万円
配偶者・扶養親族(計4名)を扶養している場合	166.8万円
障害者、未成年者、寡婦、ひとり親の場合	135.0万円

10

⑪欄(年間所得見込額) = 年間収入見込額 - (⑧給与所得控除額 + ⑨事業収入等の経費 + ⑩公的年金等控除額)
⑪欄(年間所得見込額)と⑫欄(非課税相当所得限度額)を比較して、⑪欄のほうが低ければ支給対象です。